

1 題材名 つつむ ～いのちを守るデザイン～

2 本題材の目標

- (1) 造形の要素の働きや、造形的な特徴などを基に全体のイメージで捉えることを理解するとともに、主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表す。 (知識及び技能)
- (2) 目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え主題を生成し、社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練る。目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深める。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 主体的に目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考えたことなどを基にした表現や鑑賞の活動に取り組もうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知造形の要素の働きや、造形的な特徴などを基に全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。</p>	<p>発目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え主題を生成し、社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>鑑目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表主体的に目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑主体的に目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>

4 題材について

(1) 題材観

本題材は、高等学校学習指導要領芸術の美術Ⅱ「A表現(2)ア(イ)社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練ること」に基づくものである。授業では、生卵を高さ約8メートルの3階から落下させても割れないパッケージをデザインする。使用する材料はA4のコピー用紙とケント紙のみで、接着にはのりを使用する。紙は生活に身近な素材であり、生徒も馴染みのある素材である。平らな紙は弱いが、折ったり丸めたりすると強くなるという紙の特性を生かし、感性と想像力を働かせて表現できるようにする。本題材で使用した生卵は、次の題材であるテンペラ画の材料に利用することで使い切る。

(2) 生徒観

美術Ⅱを選択している生徒は第3学年※名で、授業に意欲的に取り組む生徒が多い。特に作品を鑑賞する活動では、何かを感じ取ったり自分なりに価値づけをしたりすることに面白さを感じ、意欲的に取り組む生徒が多い。生徒間の雰囲気もよく、アドバイスを伝えて学び合いながら制作する様子が多く見受けられる。その一方で、発想や構想の段階において参考作品やインターネットで検索したものと同じようなアイデアにしてしまう生徒や、制作段階において技術に困難を感じると何度も挑戦せずすぐにあきらめてしまう生徒がいることが課題である。

(3) 指導観

第1、2次では、食品のパッケージデザインや自動車や乳児用品、医療器具などについて実物を見せたり、ICTを活用したりしながら鑑賞を行う。その際、取り上げる製品は、普段から目にしているものから見たことがないであろうものまで幅広い種類を用意することで、生徒がデザインと自分との関わりについて、自分ごととして考え、新たな発見ができるようにする。制作では、粘り強く試行錯誤しながら、自分なりの答えを導き出すことができるよう、第2次でのアイデアを考える際には「アイデアを広げたりまとめたりを繰り返すことが、よりよいデザインにつながる」ことを説明する。また、第3次で検証する場面を設定することで、生徒が何度も試しながら作品をつく

りあげていくことができる場面を設定する。授業中は、つまづいている生徒に作戦会議と称して個別に質問や助言を丁寧にしていき、生徒の主体性をできるだけ引き出していきたい。最後に完成した作品を鑑賞し合うことで、多様な見方や感じ方を深められるようにする。

5 題材の指導計画（14時間扱い） ○は指導に生かす評価場面の始まり、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価及び評価方法等
1	1	<p>学習課題 身の回りの「包む」に目を向けてみよう。</p> <p>1 様々な「包む」デザインについて、包む物や材料、見た目等に注目しながら製品を鑑賞する。 ・電球のパッケージ ・藁を使った卵のパッケージ ・ご祝儀袋 ・曲げわっぱ</p> <p>2 題材の内容や流れについて知る。</p> <p>まとめ 包む物や目的と役割を考えて、パッケージデザインはされている。</p>	○				<p>知：人を惹きつける要素や配色の特徴など、具体的な言葉を使ってワークシートへ記入することができるか見取り、単調な表現になってしまっている際は、素材や対象年齢、使用する場面、使いやすさについても着目し具体的に想像してみるよう助言する。【ワークシート】</p> <p>鑑：目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取っているかを見取り、できていない生徒には包む中身とパッケージの材料に着目するよう声をかける。【発言、ワークシート】</p>
2	2 3	<p>学習課題 条件やルール、デザインのプロセスを確認して、アイデアを出そう。</p> <p>1 課題の制作条件やルールの確認をする。 【条件】 ①指定された材料(A4コピー用紙、ケント紙、のり、ハサミ、カッターナイフ、定規、コンパス、筆記用具)のみを使用して制作する。 ②テープ、ホッチキス使用は禁止。 ③使用する紙の枚数制限はなし。 【ルール】 ①8mの高さから落として、卵が割れないパッケージを制作する。 ②落下中は、壁面等に接触することがないようにする。</p> <p>2 デザインのプロセスを確認する。 ・アイデアを出す、形にする ・検証する ・改良する</p> <p>3 「命を守るデザイン」に着目し、乳児用品や医療器具などを鑑賞する。</p> <p>4 できるだけ多くのアイデアを出す。</p>				○	<p>◎ 態表：アイデアを出す活動に主体的に取り組むことができるかを見取り、できていない生徒には、作戦会議と称して一緒に考えたり、質問をしたりして生徒からアイデアを引き出す。 【活動の様子、ワークシート】</p> <p>◎ 発：できるだけ多くのアイデアを出すことができるかワークシートの記入から見取り、難しさを感じている生徒には、卵が割れない状況や成功例について、いくつかヒントを与える。【ワークシート】</p>

		<p>まとめ アイデアを広げたりまとめたりすることの繰り返しが、よりよいデザインにつながる。</p>			
	4 5 6 7 8 9 10	<p>学習課題 アイデアを絞り込んだり、組み合わせたりして作品をつくってみよう。</p> <p>1 卵のレプリカを石粉粘土でつくる。</p> <p>2 アイデアスケッチをワークシートに描く。</p> <p>3 制作の際のルールを確認しながら制作する。</p> <p>4 低い位置で作品を落下させ、耐久性などを確認する。</p> <p>まとめ 機能面だけでなく、見た目の美しさや使いやすさも製品には求められる。</p>	○	○	<p>発：他者が使用する場面も想定した見た目や構造になっているかデザイン画から見取り、卵を守る機能のみになっている生徒には、見た目の美しさや使いやすさも製品のデザインでは重要であることを伝え描き加えられるようにする。【アイデアスケッチ】</p> <p>技：紙の接着や切断に無理はないか、道具を正しく使えているか、その他技術的な部分で困っていることはないかを見取り、支援が必要な生徒には、目の前で実演をしたり、助言をしたりする。【活動の様子、作品】</p>
3	11 12	<p>学習課題 検証を行い、友達のフィードバックを基に改良しよう。</p> <p>1 本番と同様の状況で作品に卵を包み落下させる。</p> <p>2 落下中の様子や結果から改良できる部分について考察する。</p> <p>3 作品の中間発表をグループで行いフィードバックを受ける。</p> <p>4 作品を改良する。</p> <p>まとめ 検証結果や友達からのフィードバックから、より機能的で使いやすいデザインになる。</p>	◎	◎	<p>○ 態表：卵が割れてしまった生徒の制作意欲が低下していないか見取り、発言や態度から意欲の低下が見受けられる生徒には、友達からフィードバックを受けて作品を改良することで作品がさらによくなることや、構造について話をする。【活動の様子】</p> <p>○ 態鑑：お互いの作品についてアドバイスできているか見取り、難しさを感じているグループには、第1、2次で鑑賞した製品の構造やデザインを参考にすることや、卵が割れなかった生徒の構造を鑑賞してみるよう伝える。【活動の様子、発言】</p> <p>技：【作品】</p> <p>◎ 態表：【活動の様子】</p>
4	13 14	<p>学習課題 相互鑑賞を行い、製品のデザインについて考えよう。</p> <p>1 卵の落下試験本番を行う。</p> <p>2 プレゼンテーションの準備をする。</p> <p>3 落下試験の結果も含めて作品についてプレゼンテーションを行う。</p>		○	<p>鑑：メッセージカードへの書き込みが十分であるか見取り、不十分な生徒には、造形、全体の大きさ、色や自分との違いなどに注目して作品を鑑賞してみるよう助言する。【カード】</p>

	<p>4 友達のプレゼンテーションから考えたことや感想をメッセージカードに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ 製品のデザインとは、ニーズを見付け出し、解決策を形や色、機能などで具現化することである。</p> </div>		◎	◎	<p>鑑：【メッセージカード】</p> <p>態鑑：【ワークシート、活動の様子】</p>
	<p><授業外：題材が終了後></p>	◎		◎	<p>知・技：【ワークシート、作品】</p> <p>発・鑑：【作品、ワークシート】</p>